

平成27年度第3回平塚市地域包括支援センター運営協議会会議録

日時：平成28年3月17日（木）
10時00分～11時30分
場所：平塚市役所本館720会議室

出席者

（出席委員）

末次委員、松井委員、中村委員、高橋委員、増井委員、小島委員、弘中委員、柴野委員、尾上委員（9人出席）（上野委員、今井委員、田城委員3人欠席）

（事務局）

岸高齢福祉課長、大内主管、横山主任、永原主査

（オブザーバー）

地域包括支援センターゆりのき 岩間管理者

開会

1 高齢福祉課長あいさつ

2 議題

（進行は今井会長）

議事に入る前の報告事項

過半数の委員が出席しており、平塚市地域包括支援センター運営協議会規則第5条第2項により過半数の出席を満たしておりますので会議は成立いたします。また、平塚市情報公開条例第31条により公開となっており、会議の傍聴につきましては、平塚市附属機関の会議の公開に関する要綱のとおり、取り扱うことといたします。会議の傍聴者は0名。

議題（1）地域包括支援センター運営協議会委員の公募について

<事務局>

資料1に基づき説明。

<意見・質問>

なし

議題（2）地域包括支援センター事業報告（平成27年度下半期）について

<事務局>

資料2に基づき説明。

<意見・質問>

<委員>

学校で認知症サポーター養成講座を行った際、学生の反応はどうか。

<事務局>

認知症サポーター養成講座は、座学であるため、学校側は、体験型の講座を行ってほしいと聞いている。

<包括支援センターゆりのき>

昨年度、富士見小学校3年生を対象に認知症サポーター養成講座を実施した。祖父母と一緒に暮らしている小学生が少ないため、認知症の症状を想像させることが難しいと実感した。小学生にわかりやすいアニメ等の内容を盛り込んだため講座の手ごたえはあった。

<委員>

包括職員のスキルアップについて、市の方で指針を示しているのか。

<事務局>

特に示しておりません。

<委員>

各包括支援センターの自己評価について、事業が円滑にいけない場合等、市の方で包括支援センターのフォローを行っているのですか。

<事務局>

担当職員が包括支援センター職員にヒアリングを行い事業が計画通り進んでいるか確認し、アドバイスを行っている。

議題（3）平成28年度包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る方針

<事務局>

資料に基づき説明。

<委員>

高齢者虐待の相談数を教えていただきたい。

<事務局>

平成27年度前期の件数は、37件です。

<委員>

高齢者よろず相談センターと地域包括支援センターの名称の使い方についてどちらを使えばよいのか。

<事務局>

現時点では、高齢者を対象としているため、高齢者よろず相談センターという呼称を使用させていただいています。

議題（4）平塚市地域包括支援センター圏域増設の引継状況について

<事務局>

資料に基づき説明。

<委員>

業務の引継は、どこで行っているのか。

<事務局>

包括分割前の法人に業務の引継を受ける職員が入り、実際の業務に携わりながら引継を行っています。

<委員>

包括支援センターとよだの圏域に新たな法人が入るが、包括支援センターのサービスが変わることはあるのですか。

<事務局>

包括支援センターの業務を受託する法人が変わるだけなので包括支援センターのサービスは今までと同じです。

議題（５）平塚市地域ケア推進会議

<事務局>

資料に基づき説明。

<委員>

小地域ケア会議と個別ケア会議の課題の仕分けが見づらい。

<事務局>

小地域ケア会議と個別ケア会議の課題が明確にしたうえで次回以降ご提示させていただきます。

3 その他

事務局から特になし

<会長>

以上をもちまして、平成27年度第3回目の運営協議会に係る事項はすべて終了しました。委員の皆様、どうもありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

<事務局>

各委員の皆様には、お忙しい中お越しいただき、貴重な御意見をいただきましてありがとうございました。これで、平成27年度第3回平塚市地域包括支援センター運営協議会を終了いたします。ありがとうございました。

以 上